

第83回皇后杯 全日本総合バスケットボール選手権大会4連覇21回目の優勝について

記者各位

JX-ENEOSサンフラワーズ(ヘッドコーチ:トム・ホーバス)は、一昨日行われました第83回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会におきまして、富士通レッドウェーブに91対67で勝利し、4連覇および史上最多記録を更新する21回目となる優勝を果たしましたので、お知らせいたします。

決勝戦では、渡嘉敷選手が32得点、宮澤選手が27得点あげるとともに、強固なディフェンスで富士通を67点に抑え、勝利を収めました。

また、今大会活躍した選手に贈られるベスト5に、当チームから吉田亜沙美(4年連続7回目)、渡嘉敷来夢(7年連続7回目)、宮澤夕貴(初選出)の3選手が選出されました。

今後、JX-ENEOSサンフラワーズは、1月21日から再開する第18回Wリーグにおいて、9年連続20回目の優勝に向けて戦ってまいります。引き続き、温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。

1. JX-ENEOSサンフラワーズの成績

日 程		対戦チーム	スコア
1月 4日(水)	3 回 戦	岐阜女子高	89-54
1月 6日(金)	準々決勝	アイシンAW	91-58
1月 7日(土)	準 決 勝	トヨタ自動車	72-52
1月 8日(日)	決 勝	富士通	91-67

2. 表彰式の様子



<表彰式の様子>



<ベスト5に選ばれた3選手>

左から、吉田亜沙美、渡嘉敷来夢、宮澤夕貴

